



株式会社 ビジネスプラン



# 第41期 経営計画発表会

2025  
10/1  
Wed

時間： 13:30 - 17:30 (開場 13:00)

場所： サンパレス益田 (島根県益田市高津町イ2355-12)

会費： 7,000円/人 (税込) ※事前予約制

※お申込用紙は裏面へ

特典： 第41期経営計画書 (非売品) を差し上げます

## プログラム

| 第1部 | 基調講演 (13:30 - 15:00)

| 第2部 | 経営計画発表 & 社員代表挨拶 (15:15 - 16:45)

交流会 (16:45 - 17:30 (予定))

※田村先生や参加者同士の、ささやかな交流の場を設けております。

(フリードリンク有り) お名刺は多めにご準備下さいませ。

なお、時間的な拘束はございませんので、ご自由にお帰り下さい。



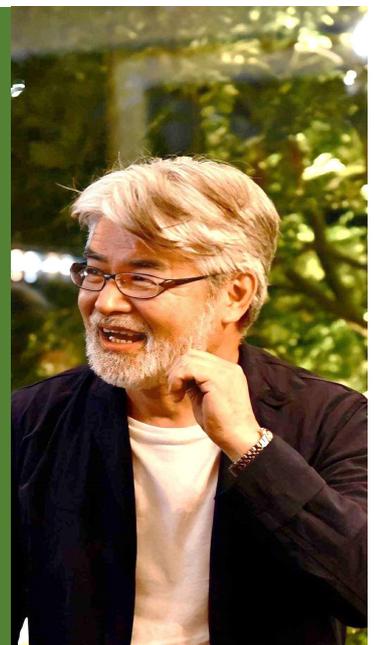
## 【基調講演】

講師：元 株式会社 モスフードサービス 専務取締役

田村 茂 氏

演題：中小企業が生き抜く「独自の価値創造経営」

office igatta代表。外食・小売・サービス業界を中心に、マーケティング、商品開発、ホスピタリティ、リーダーシップなどをテーマに多数の講演・研修を行う。元モスフードサービス専務取締役で、モスライスバーガー開発の立役者。現在は (一社) 流通問題研究協会特別研究員、北海道地域フード塾講師、(一社) マーケティング共創協会登録講師としても活躍している。



## 第 41 期 経営計画発表会のご案内

「経営計画書」と聞いて、どんなイメージをお持ちでしょうか？

一般的には、「数値予測が並べられた書類」を思い浮かべる方が多いと思います。

率直に申しますと、それはあくまで融資を受けるための「銀行提出用」の経営計画書であって、本来的な、**経営に生かすための経営計画書**ではありません。

もちろん、数値計画も大事です。しかし、「数字」だけで「方針」が無ければ、それはあたかも「仏つくって魂入れず」の状態なのです。

そこで弊社では、10 年前より、「方針」（=魂）の入った経営計画書を作成し、経営の様々な場面で活用してきました。

著名な経営コンサルタントの一倉定先生は、『単なる数値予測ではなく、**「方針」によって経営者としての意志が反映された経営計画書は、社員を守り、関わる人を幸せにし、事業を発展させてくれる魔法の書である**』という言葉を残されていますが、私自身、まだまだ未熟ながらも、経営計画書に取り組んできて本当に良かったと思っています。

また弊社では、毎年 10 月に経営計画発表会を開催しています。9 月末が決算のため、このタイミングで新たな期の経営計画書を配布し、**経営者である私が社員の前で方針を発表**するためです。

そしてその際、弊社における経営計画の取り組みが多少なりともご参考になればと思い、顧問先に限らず、外部のどなたでもご参加いただけるオープンな形で行っています。

今年は、**10 月 1 日（水）PM**に開催する運びとなりました。

発表会では基調講演も行っており、今回の講師には、元株式会社モスフードサービス専務取締役の田村茂先生をお招きします。

田村先生は大学 2 年生の時に、モスバーガーの創業者・櫻田慧（さくらださとし）氏と運命的な出会いを果たされたそうです。

その後、創業間もないモスフードサービスに入社され、店長、スーパーバイザー、営業部長などを歴任。1987 年には商品開発部長として「ライスバーガー」の開発に携わり、モスバーガーのブランド価値を大きく高めることに成功します。

その後も、取締役商品本部長、専務執行役員 COO を経て、2011 年には専務取締役に就任されました。まさに、**モスバーガーの発展を中心となって支えられた方**です。

当日は、

- ▼ 経営資源の乏しい会社の経営戦略
- ▼ モスの健闘の理由 ～経営指針「心+科学」の存在～
- ▼ マーケティングとは「お客様へのお役立ち競争」
- ▼ 情緒的価値の時代「ホスピタリティマインド」
- ▼ マネジメントの本質
- ▼ リーダーは社員の成長に「伴走できる器」を
- ▼ 理念を風化させない

などについて、ご講演いただく予定です。

どれか1つでもご興味のある方は、きっと経営のヒントが得られると思います。

なお今回は新たな試みとして、**田村先生や参加者同士の、ささやかな交流の場**も設けております。

この機会にぜひ、**気付きの場、学びの場、交流の場**として、ビジネスプラン経営計画発表会をご活用いただけますと幸いです。

ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加下さいませ。どうぞよろしくお願い致します。

株式会社ビジネスプラン  
代表取締役 安野広明